

♪♪♪ いい歌、いい町、いい自然 ♪♪♪

No. 490

2003. NOV

広報

あかしいけ

11

あきらめない。

藤村 浩行

THE HUMAN DOCUMENT HIROYUKI FUJIMURA

な

るべく人の手は借りたくないです。
力強い口調で語る藤村浩行さん（生力
ニュータウン）。5月から赤池町役場
同和対策課に臨時職員として働いている。
今日もパソコンに向かい、テキパキと業務を
こなす。障害というハンデを感じさせない
明るい性格の21歳。その横顔に難病と闘い
ながら様々な困難を乗り越えてきた強さが
うかがえる。今回は12月の人権旬間に向け
て、彼の姿にスポットを当て、障害のある
人もそうでない人も同じ社会で共に暮らす
「共生」について考えます。

THE HUMAN DOCUMENT HIROYUKI FUJIMURA

あきらめない。



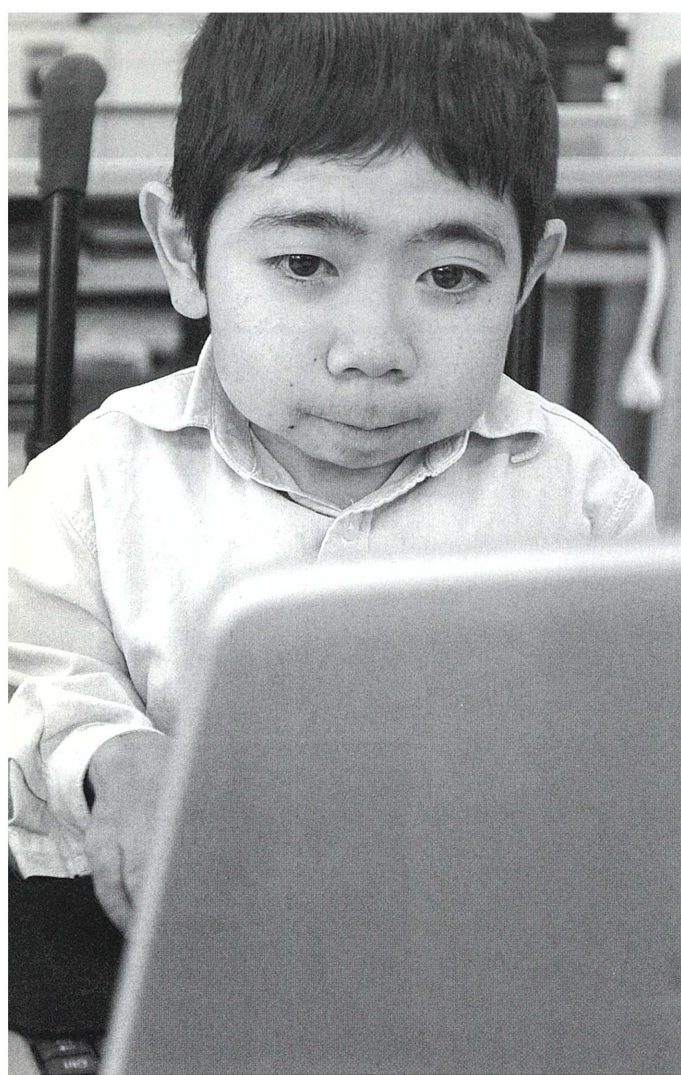
昭

和57年8月4日、三人兄弟の
長男として産声をあげた藤村
浩行さん。すくすくと成長す
るその姿に両親は目を細めた。生活の
中心はいつも浩行さんだった。あやし
声と笑顔の絶えない家庭。しかし、そ
んな幸せな時間も長くは続かなかっ
た。異変は2歳の誕生日を迎えたころ
から徐々に現れ始める。いつしか笑い
声が消えていった。
「40度近くの高熱が続き、節々の痛
みでひたすら泣いていました。まだ
2歳ですから、ただ『痛い』とだけし
か口にできません。病名が判明するま
でに1か月以上かかり、悩み苦しませ
ました。病名は『若年性関節リウマチ』。

原因不明、治療法もない難病です。医
師の言葉に、目の前が真っ暗になり、
ショックで医師の声が遠のいていつた
のを覚えています。いけないことでし
ようが、たくさんの子どもがいる中で
『何で、わが子が』とも思いました。
母・玲子さんはしみじみと当時を振
り返る。
激しい痛みで泣きじゃくる息子を見
て、両親は胸を裂かれる思いだった。
「とにかく、痛みと熱を取り除いて欲
しい。どうかかしてください」。医師
に頭を下げた。そして、熱を下げるた
めに「ステロイド」を服用。副作用の
恐れもあったが、それ以外に選択肢は
なかった。それ以来、浩行さんは毎日

この薬を飲み続けている。医
薬の副作用が現れたのは4歳のころ
だった。上野小学校に入学し、1年生
のときに手が変形し始めた。3年生の
ころから段々と歩くのがつらくなっ
てきた。そして5年生の夏、車いすを利
用することに…。
「昼休みも勉強してらんだよ」とい
う浩行さんに、母・玲子さんは「昼
休みくらい外で遊びなさい」と何気な
く言った。しかし、歩行に時間がかか
り、校庭に出たころには次のチャイム
が鳴ってしまふ。その理由を知り、頭
を抱えた。医師は、歩けなくなる症状
が早まるのでやめた方がいいと反対
したが、移動は車いすの方が格段に早

い。親としては息子に自由を与えたく
った。
薬の副作用は成長期に顕著になる。
伸びようとする骨が関節で抑えられ曲
がってしまうからだ。やがて赤池中学
校へ進学。浩行さんの入学に際し、学
校を挙げて準備に取り組んだ。補助の
先生をつけ、スロープを設置するな
どバリアフリーに向けての改築を行っ
た。そして、周りの子ども達との心の
バリアフリーについても話し合った。
「今後どんな障害のある子どもでも一緒に
学べるように」。今まで必要だと感じ
ながらも、先送りされていたバリアフ
リー、それを最優先するようになった。
学校の意識が変わった。



若年性関節リウマチ

16歳以前に始まる関節
炎を主体にした病気。全身
型・少関節型・多関節型に
分類され、それぞれ異なる
臨床像を示し、成長や発
達を障害する。慢性的な関
節の炎症で、原因は不明。
年間およそ10万人に1人
の割合で発病すると言われ、
根本的な治療法は見つか
っていない。ステロイド（副
腎皮質ホルモン）薬が特に
有効だが、副作用も強い。



何で、わが子が…

THE HUMAN DOCUMENT HIROYUKI FUJIMURA

あきらめない。